

2021年4月12日

関係各位

社会福祉法人 ワゲン福祉会  
ワゲン療育病院長竹  
施設長 村上 研一

ワゲン療育病院長竹における新型コロナウイルス感染者の発生について  
(第2報)

2021年3月26日にワゲン療育病院長竹の職員1名が新型コロナウイルス陽性と判明し、濃厚接触者はなかったものの保健所の勧告に従い翌3月27日に長期入所者38名と短期入所者4名、職員2名の計44名にPCR検査を実施した結果、全員陰性との判定を受けました。

これを受けて念のため3月29日(月)から4月11日(日)までの2週間、当施設の短期入所事業と外部からの面会・訪問診療等を一旦休止致しましたが、期間中に新型コロナウイルス感染症を疑わせるような発熱や呼吸器症状を呈する入所者および職員は1名も続発しなかったことから、本日、4月12日(月)より短期入所事業と外部からの面会・訪問診療等を再開することとなりました。

期間中、ご利用者の皆様やご家族の皆様にはご迷惑とご心配をお掛け致しましたが、集団生活の場としてのクラスター発生を防止するためのやむなき措置であり、何卒ご理解の程お願い致します。

また引き続き外部からの来所者の面会方法や、入所者の外出・外泊については市中の感染状況を踏まえて徐々に制限を緩和して参りますので、何卒ご容赦下さい。

これからも尚一層の感染防止対策に努めて、安心・安全な施設運営を心がけて参りますので今後ともご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。